

令和5年6月30日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 11時 05分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 岡野 敏彦
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦
○	教育委員	杉本 かおり
○	教育委員	野谷 悦

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 椎野 文彦 |
| 教育総務課長 | 田嶋 卓司 |
| 教育指導担当課長 | 倉重 成歩 |
| 生涯学習課長 | 山下 昌志 |
| 教育総務課指導班長 | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長 | 高橋 梓 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 1名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和5年度6月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

岡野委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 6月政策会議結果報告、議会定例会報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(野谷委員) 教育総務課の事業報告で、5月23日と5月25日ににのみや学園小中交流会とありますが、二宮中学校と二宮西中学校ではどのような内容だったのでしょうか。また、にのみや学園の通信にある小学校と中学校の運動会のプログラムについて、同じことをやっているのは驚きました。

(指導班長) にのみや学園小中交流会は毎年行っていて、中学校1年生に進学した生徒たちの様子を、昨年度小学校6年生のときに担任していた先生が授業を見に行き様子を確認します。その後、中学校1年生の担任の先生と、小学校6年生の旧担任の先生で情報交換をし、スムーズな接続を図っていくために、取り組んでいるものになります。

(藤原委員) 温水プールについては、少しずつ廃止に向かって進められています。一方で、廃止の理由が経費的に厳しいという理由だけでロジックを作るのは、疑問があります。今まで使用していた方の意見を聞くことがあってもいいのではないかと思っています。建設された当初は、とても先進的な建物で多くの方が町内外から利用していましたが、結果としてこのような形になったのは仕方がないという意見を聞きました。また、実際に利用していた方は、他の施設に行ったりしていることも聞いています。設備の金額だけの話だけではなく、利用者がどのような思いで利用していたか、今はどうしているのかについても議会で説明していただけると良いかなと思います。

制服アンケートについて、小中9年間の制服のあり方では、6・3で考えないという議論もある中で、小学校と中学校でどうしますか、小学校でも制服にしますか、という聞き方のアンケートになっていました。制服を使った9年間のイメージが無い中だと、今まで通りで、制服のデザインが変わる、今までと変わらないイメージしか湧かないと思いました。小学校で制服を導入したいと思う人は、1年生から導入してほしい人だと思いますので、4・5年生で自覚を持たせたいという考えから制服を希望する人はほぼいないと思います。一旦、小学校中学校で分けているのはいいのですが、4・3・2などの区分けの話になったときには、制服のあり方を見直せるように考えていただきたいと思います。

(教育部長) 温水プールの休止後の問い合わせは、毎日来館されていたような方から複数

回ありました。温水プールと同じような施設を利用したい方には、広域利用ができる近隣市町の施設を案内し、ホームページに掲載をしました。ホームページに掲載後は、問い合わせがなく、理解いただけていると考えています。

(藤原委員) 還付の機会に、意見を聞くのも一つの手です。

(生涯学習課長) 還付手続きは、6月の補正予算の成立後に進めています。合わせて、廃止の方向についても案内をしていますが、特段問い合わせはありません。議会の一般質問、議会全員協議会では、温水プールの運営費を抑制するために早期に進めていることを説明しています。そのような中で、早急に進めているため、スケジュール的に意見を聞く機会を設けることが難しくなっています。

(藤原委員) 説明会とまではいなくても、意見を聞ける機会を設けることで、聞きたいと思っているのかどうかが大事になると感じています。町議会議員の方が町民の声を聞く役割があるから、町職員は直接聞かない役割ではないので、聞ける機会があるのであれば、聞いた方が良いです。感謝の言葉は聞きにいかないと手に入らないし、そういったことをやることで物事がスムーズに進むのではないかと感じています。

(指導班長) 前年度に教育委員さんから9年間によるスパンで検討してほしいという意見をいただいていたので、まずは小学校の段階で制服の必要性のニーズがどのくらいあるのかを広く捉えていこうと考えました。その回答結果で、小学校でも取り入れるべきというニーズが高いのであれば、小中学校9年間の育ちを考えていく上で、良いツールになっていくと考えられます。

(教育指導担当課長) にのみや学園制服のあり方検討会で、小学校の制服については、実際に制服が無い中で、何年生からアンケートを取るのか、という意見もありました。しかし、想像ができないという意見がありましたので、小学校に制服があった方がいいのか、無い方がいいのかということを入力として、それを見極めながら段階的に増やしていこうということになりました。

(藤原委員) 想像がついていないということは、たとえ5年生でも想像はできないと思ってください。

(教育長) 今回のアンケートは、現在の制服を存続するのかどうかもありますので、まずは今の制服を見直すことで一歩進むかどうかと捉えていただければと思っています。

(岡野委員) 制服については、今の議論を踏まえて検討を進めていただければと思います。制服姿の小学校高学年がいるというのも、先の中学の世界を見せる意味でも効果があるのではないかと感じます。

運動会で、小学校のプログラムを中学生が難易度の上だった同じプログラムをチャレンジするというのは、良い内容ではないかと思います。教科書でも、小学校低学年で出ている単元が中学校でも出ています。小学生のときの気持ちと中学生のときの気持ちを比べる場面もありますので、その姿を小学生が見られる状態を作り出していく必要があるのではな

いかと感じています。

(杉本委員) 学校に電話をすると、『にのみや学園』を最初につけて学校名を名乗ると聞いていました。実際、保護者が電話をしたら、にのみや学園と言っていたので、にのみや学園が始まっているんだと感じた、という声を聞きました。そうした中で保護者にも少しずつ意識が高まっていくのではないかと思います。

4 付議事項

5 報告・協議事項

(1) 二宮町教育委員会点検及び評価報告書について

(教育総務班長) 二宮町教育委員会点検及び評価報告書について資料に基づいて説明。

(藤原委員) 来年度はK P Iを決めて定量的に数字を上げていく評価をすることになっています。今年度は定量的な数値はありませんが、評価を考える中で定量的な数値が出せるのであれば、お互い考えていただき、来年度にアップデートをしてもいいのではないかと考えています。P 4 7の評価基準はAが目標達成となっています。目標を大きく上回ってもAで、Bだと少し問題があるように見えますので、変えられるタイミングがあれば、その議論をお願いします。I C Tが良い例で、目標達成をして、それ以上に頑張つて成果も出ましたが、評価をAにせざるを得ませんでした。

(野谷委員) 教育者からみると、Sは普通無いだろうと考えてしまいます。評価は、活動ではなく、予算がついたという意味だと考えています。

(藤原委員) 結果が目標より上回っていたかどうかが大事です。Aの上のSは目標設定することができない評価です。ですので、Sの目標を書いておく必要はなく、滅多に出ない評価で構いません。今後は、児童生徒についてもそういう視点になっていくこととなります。

(教育総務班長) 来年度以降の評価については、評価シートも見直す必要があります。その中で、評価をどうするか、という議論はできると思いますので、Sなどの新たな項目を考えていきたいと思っています。

(杉本委員) 自分の子どものことですが、海外の大学でA+++の評価をしてもらい、嬉しかったので、本人もさらに頑張るという状況があります。

(岡野委員) Aプラスの評価設定を想定するべきだと思います。想定される障害を乗り越えて達成する目標がAになり、想定していない障害をも乗り越えて達成できた目標はA+になるイメージです。

(野谷委員) 数値で目標がはっきりしていれば、可能と考えられますが、漠然としている

のに高い目標を掲げるのは疑問があります。

(教育長) 目標が予想以上に超えた場合に評価が与えられるような仕組みを作るということですね。

(2) 二宮町立学校における医療的ケア実施要綱の一部を改正する要綱について

(教育指導担当課長) 二宮町立学校における医療的ケア実施要綱の一部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

(3) におみや学園「制服のあり方」に係るアンケートについて

(教育指導担当課長) におみや学園「制服のあり方」に係るアンケートについて資料に基づいて説明。

(岡野委員) イングランドのタータンチェック柄のロングスカートの先生を見かけたこともあります。今後、男子がスカートを選ぶという選択肢も出てくると思うので、視野に入れるべきと思っています。

(教育指導担当課長) 4つからの選択回答となっていますが、最後に自由意見を書く欄があります。その記述を注視しながら、今後の方向性を検討していきます。

(藤原委員) 最後に自由意見を書く欄があると言っていましたが、これだと選択しなかった理由を書く気にはあまりありません。選択肢の中で理由等を書いてもらった方が良かったのではないかと思います。

(4) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて

(教育総務班長) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて資料に基づいて説明。

(岡野委員) どう繋いで語り伝えていくのかが大きなテーマだと思います。小学生同士が集まるのもいいのですが、中学生が碑文の朗読練習をしているところに小学生が見に行く、中学生が議論をしている場に小学生が参加するなど、数年後には自分たちもやるんだという姿が見えると繋いでいけるのではないかと思います。

(野谷委員) 碑文については、数年前から課題があり、ガラスのうさぎ像平和と友情推進委員会から教育委員会へすでに説明しています。二宮駅付近は艦載機 P51 の機銃掃射を受けたとされていますが、間違いではないかということ、12歳の少女とありますが、高木敏子さんは当時高等女学校在学中で誕生月が6月のため、13歳ではないかということです。その修正する必要があるのではないかと意見が出ています。

(教育総務班長) 町の担当課である総務課も把握していますが、碑文は石のためすぐに対応することが難しい状況です。今回の碑文朗読は、その部分をなくす対応をすることになっています。

(藤原委員) 岡野委員がおっしゃっていた中学生が議論している場、例えばパネルディスカッションをしている場を小学生が見ていることで、ああいうふうにやりたい、あんなことが中学生になったらできるかも、と考えられます。小学生と中学生が同じ場にいるのであれば、小学生に対して中学生が背中を見せることができないかをセットで考えていければと思います。

(教育長) 参考にさせていただき、校長会等で検討していきます。

(6) その他

― 次回教育委員会予定 ―

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

傍聴者退席

(5) 二宮育英会奨学生の選考結果等について

(教育総務班長) 二宮育英会奨学生の選考結果等について資料を基づいて説明。

― 非公開 ―

11時05分 閉会